

平成24年度 岸和田市指定管理者モニタリングチェックシート

1. 基本情報

施設名	岸和田市立浪切ホール
所在地	岸和田市港緑町1番1号
指定管理者名	JTB・南海グループ
公募/非公募の別	公募
指定管理期間	平成23年4月1日から平成28年3月31日まで
指定管理料	231,553,000円
施設所管課名	企画調整部文化国際課

2. 事業報告書の概要

管理業務の実施状況	基本協定書に基づき、施設管理を適切に実施した。設備の点検や館内外の安全管理に努めた。利用者に大きな負担をかけない範囲で、空調の温度・照明等、環境に配慮した維持管理に努めた。
運営業務の実施状況	自主事業は54事業実施。自主事業のうち、市内（施設外）、祭りの広場でのイベント等除き、39,045人の入場があった。ジャンルは、古典芸能、演劇・舞踊、J-POP、クラシック音楽等。開館10周年記念事業として7事業を実施し、他、マドカホール・自泉会館と合同で、市民が出演する演劇を制作した。
施設の利用状況	利用者数推移（3カ年分記入してください。）
	(H22) 542,795人→(H23) 541,804人→(H24) 537,082人
	入場料収入等推移（3カ年分記入してください。）
	利用料金 H22 115,594,678円 H23 115,459,458円 H24 118,806,369円
	上記推移の理由等
	利用者について、H24は、H23に比べ、施設全体の稼働率はほぼ変わらないが、主にホール利用者数の減によるところが大きい。利用料金については、ホール以外の施設に伸びがあったため、利用料金は収入増となった。

3.モニタリングチェック

総合評価	個別評価・理由・意見等
A	1 履行確認
	A 適切に履行しているが、自主事業の充実が望まれる。
	2 サービス水準の確認
	A 適切に提供している。
	3 事業収支の確認
	A 利用料金は、ほぼ順調に推移しているが、全体の収支の改善が必要。
4 その他	
A 定期的、日常的に連絡体制をとっている。	
	総合評価理由・意見等
	市の最大規模の文化施設で、周辺エリアを代表するシンボリックな存在である。施設利用者が年間50万人を超え、周辺地域への波及効果も大きい。施設利用者の減や、自主事業の収支状況など課題はあるが、フェイスブックの開設、オンラインでのチケット購入を可能にするなど利用拡大に努めた。25年度は、更なる利用拡大に努めるとともに、自主事業の充実を図られたい。

※評価区分（個別評価・総合評価のいずれも同じ）

S【優良】：協定や仕様書、計画等以上のサービス提供や効率的運営ができています。

A【良好】：協定や仕様書、計画等に沿った適切な管理・運営がなされています。

B【課題有】：おおむね適切な管理・運営が実施されているものの一部に課題があります。

C【要改善】：早急に改善すべき点があります。